

【公開日】 2026年7月9日

## 「情報公開文書」

受付番号： 2026-4-045

課題名：主題：包括的国際百寿者研究 ―健康長寿達成に向けて―  
副題：第1部 寿命関連遺伝子（長寿遺伝子）と加齢関連遺伝子の同定

研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構 特別栄誉教授 山本 雅之

### 1. 研究の対象

東北メディカルメガバンク機構のコホート調査に参加された方

### 2. 研究目的・方法

#### 【研究期間】

2022年2月（倫理委員会承認後） ～ 2031年6月

#### 【研究目的】

本研究は慶応義塾大学医学部・百寿総合研究センターが総括施設となった他施設共同研究である。

世界的な超高齢化を背景に健康寿命の延長が国家的に重要な課題となっている。百寿者、超百寿者は健康寿命が長く、健康長寿モデルである。百寿者の医学生物学的特長、生活習慣を明らかにすることが国民一般の健康長寿を支える知識基盤となる可能性が示唆されている。

本研究の目的は、健康長寿達成に資する遺伝的要因を明らかにするために、ヒトにおける寿命関連遺伝子（長寿遺伝子）と加齢関連遺伝子を同定することである。

#### 【研究の方法】

本研究において東北メディカル・メガバンク機構からは、すでに本機構で解析を終了した一般人口約8,300名の全ゲノム配列の情報およびマイクロアレイ解析を行った参加者のゲノム情報と、および血液検査データ、健康調査データ、年齢情報（両親の死亡年齢も含む）を提供し、百寿総合研究センターで2021年3月31日までに解析終了した百寿者の全ゲノム配列解析の結果と合わせて、ToMMoのスパコンを用いて解析を行う。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

基本情報、臨床情報、ゲノム配列解析結果、血液検査データ、健康調査データ

### 4. 外部への試料・情報の提供

基本情報、臨床情報、ゲノム配列解析結果、血液検査データ、健康調査データを百寿総合研究センターの研究者に提供する。提供するデータの解析は ToMMo スパコン内で行い、研究の結果得られた日本人長寿関連因子解析結果を双方で共有する。

また、本研究では、長寿に関連する遺伝的な特徴を調べるための統計解析を行う。この解析から得られた結果のうち、個人を特定できる情報を含まない統計情報については、研究成果の共有や将来の医学研究の発展のため、公的データベース等を通じて公開する。

### 5. 研究組織

慶応義塾大学医学部百寿総合研究センター 新井 康通

大阪大学大学院医学研究科老年腎臓内科 楽木 宏美

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 神出 計

大阪大学大学院人間科学研究科臨床死生学・老年行動学 権藤 恭之

東京医科歯科大学保健衛生学科分子病態検査分野 沢辺 元司

東京都健康長寿医療センター研究所 健康長寿ゲノム探索チーム 田中 雅嗣

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム 稲垣 宏樹

東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 増井 幸恵

豊橋技術科学大学 健康支援センター 小島 俊男

ボストン大学医学部 Thomas Perls

ニューカッスル大学研究所生物老化学グループ Thomas von Zglinicki

国立健康・栄養研究所 栄養増進研究部 宮地 元彦

順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科 福 典之

Universidad Europea de Madrid 生理学教室 Alejandro Lucia

University of Pavia 健康科学科 Enzo Emanuele

University of Pavia 内科学教室 Giovanni Ricevuti

九州大学整体防御医学研究所ゲノミクス部門 山本 健

三重大学生命科学研究支援センター 小林 一成

名古屋学芸大学大学院栄養科学 下方 浩史

理化学研究所 ゲノム医化学研究センター 久保 充明

理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター機能性ゲノム解析部門 Piero

Carninci

理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター機能性ゲノム解析部門 橋本浩介

大阪市立大学大学院医学研究科 森 啓

新潟大学脳研究所 池内 健

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 病院 高尾 昌樹

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 美原 盤

Human Statistical Genetics Unit, Laboratory of Genetics, National Institute of Aging  
Jun Ding

Human Genetics Section and Chief, Laboratory of Genetics, National Institute of Aging  
David Schlessinger

ワシントン大学医学部内科学病理学教室 浦野 文彦

大阪大学大学院医学系研究科ゲノム情報学共同研究講座 中谷 明弘

国立研究開発法人国立長寿医療研究センターメディカルゲノムセンター 新 飯 田  
俊平

東京大学医科学研究所ウイルス感染分野 河岡 義裕

Department of Medicine - Section of Rheumatology, Knapp Center for Lupus and  
Immunology Research, Committee on Immunology, University of Chicago Patric  
Wilson

University of New South Wales, Medicine, School of Psychiatry Karen Mather

岩手医科大学災害復興事業本部・いわて東北メディカル・メガバンク機構生体情報解析部門  
清水 厚志

報徳会宇都宮病院 広瀬 信義

DeepMind Technologies Limited Ziga Avsec

グーグル合同会社 Joe Ledsam

大阪大学大学院医学系研究科遺伝統計学 岡田 随象

順天堂大学難病の診断と治療研究センター 岡崎 康司

理化学研究所生命科学研究センター ゲノム情報解析チーム Hon Chung Chau

国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター 寺尾 知可史

国立大学法人京都大学 高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 村川 泰裕

エーザイ株式会社 塚原 克平

東京大学医科学研究所 癌・細胞増殖部門 癌防御シグナル分野 中西 真

京都大学大学院医学研究科腎臓 内科学 柳田 素子

熊本大学大学院・医学研究科・分子遺伝学分野 尾池雄一

島根大学医学部腎臓内科 神田武志

ウイスコンシン大学 Gabriele Neumann

Translational Genomics Research Institute (TGen) John Altin

理化学研究所 脳神経科学研究センター 大西 公平

東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム 三浦 ゆり

理化学研究所生命医科学研究センター ヒト免疫遺伝研究チーム 石垣 和慶  
理化学研究所脳神経科学研究センター 認知症病態連携研究ユニット 笹栗 弘貴  
九州大学生体防御医学研究所 附属高深度オミクスサイエンスセンター 増田 隆博  
大阪大学微生物病研究所 環境応答研究部門 生体統御分野 石谷 太  
江崎グリコ株式会社 井ノ岡 博  
タフツ大学メディカルセンター Paola Sebastiani  
オレゴン州立大学生物統計学 Harold Bae  
名古屋市大学大学院医学研究科医学統計学 中谷 英仁  
大阪大学大学院医学系研究科 内科学講座 老年・総合内科学 山本 浩一  
Yale Center for Systems and Engineering Immunology John Tsang  
京都大学 医学研究科 腫瘍生物学講座 小川誠司  
東京大学 先端科学技術研究センター 細胞関連医科学分野 星野 歩子  
九州大学生体防御医学研究所 附属高深度オミクスサイエンスセンター 長崎 正朗

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究参加者にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究参加者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北大学・東北メディカル・メガバンク機構の連絡先

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

電話番号：022-274-6040

URL：<http://www.megabank.tohoku.ac.jp/>

## ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。

(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

#### ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

以下、過去に掲載を行っていた文書

## 「情報公開文書」

受付番号： 2021-4-152

課題名：

主題：包括的国際百寿者研究 ―健康長寿達成に向けて―

副題：第1部 寿命関連遺伝子（長寿遺伝子）と加齢関連遺伝子の同定

研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構 機構長 山本 雅之

### 1. 研究の対象

東北メディカルメガバンク機構のコホート調査に参加された方

### 2. 研究目的・方法

#### 【研究期間】

2022 年 2 月（倫理委員会承認後） ～ 2026 年 6 月

#### 【研究目的】

本研究は慶応義塾大学医学部・百寿総合研究センターが総括施設となった他施設共同研究である。

世界的な超高齢化を背景に健康寿命の延長が国家的に重要な課題となっている。百寿者、超百寿者は健康寿命が長く、健康長寿モデルである。百寿者の医学生物学的特長、生活習慣を明らかにすることが国民一般の健康長寿を支える知識基盤となる可能性が示唆されている。

本研究の目的は、健康長寿達成に資する遺伝的要因を明らかにするために、ヒトにおける寿命関連遺伝子（長寿遺伝子）と加齢関連遺伝子を同定することである。

#### 【研究の方法】

本研究において東北メディカルメガバンク機構からは、すでに本機構で解析を終了した一般人口約 8,300 名の全ゲノム配列の情報およびマイクロアレイ解析を行った参加者のゲノム情報と、血液検査データ、健康調査データ、年齢情報（両親の死亡年齢も含む）を提供し、百寿総合研究センターで 2021 年 3 月 31 日までに解析終了した百寿者の全ゲノム配列解析の結果と合わせて、ToMMo のスーパーコンピュータを用いて解析を行う。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

基本情報、臨床情報、ゲノム配列解析結果、血液検査データ、健康調査データ

### 4. 外部への試料・情報の提供

基本情報、臨床情報、ゲノム配列解析結果、血液検査データ、健康調査データを百寿総合研究センターの研究者に提供する。提供するデータの解析は ToMMo スーパーコンピュータ内で行い、研究の結果得られた日本人長寿関連因子解析結果を双方で共有する。

### 5. 研究組織

慶応義塾大学医学部百寿総合研究センター 新井 康通

大阪大学大学院医学研究科老年腎臓内科 楽木 宏美

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 神出 計

大阪大学大学院人間科学研究科臨床死生学・老年行動学 権藤 恭之

東京医科歯科大学保健衛生学科分子病態検査分野 沢辺 元司

東京都健康長寿医療センター研究所 健康長寿ゲノム探索チーム 田中 雅嗣

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム 稲垣 宏樹

東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 増井 幸恵

豊橋技術科学大学 健康支援センター 小島 俊男

ボストン大学医学部 Thomas Perls

ニューカッスル大学研究所生物老化学グループ Thomas von Zglinicki

国立健康・栄養研究所 栄養増進研究部 宮地 元彦

順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科 福 典之

Universidad Europea de Madrid 生理学教室 Alejandro Lucia

University of Pavia 健康科学科 Enzo Emanuele

University of Pavia 内科学教室 Giovanni Ricevuti

九州大学整体防御医学研究所ゲノミクス部門 山本 健

三重大学生命科学研究支援センター 小林 一成

名古屋学芸大学大学院栄養科学 下方 浩史

理化学研究所 ゲノム医化学研究センター 久保 充明

理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター機能性ゲノム解析部門 Piero Carninci

理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター機能性ゲノム解析部門 橋本浩介

大阪市立大学大学院医学研究科 森 啓

新潟大学脳研究所 池内 健

埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科 高尾 昌樹

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 美原 盤

Human Statistical Genetics Unit, Laboratory of Genetics, National Institute of Aging  
Jun Ding

Human Genetics Section and Chief, Laboratory of Genetics, National Institute of Aging  
David Schlessinger

ワシントン大学医学部内科学病理学教室 浦野 文彦

大阪大学大学院医学系研究科ゲノム情報学共同研究講座 中谷 明弘

国立研究開発法人国立長寿医療研究センターメディカルゲノムセンター 新飯田 俊平

東京大学医科学研究所ウイルス感染分野 河岡 義裕

Department of Medicine - Section of Rheumatology, Knapp Center for Lupus and  
Immunology Research, Committee on Immunology, University of Chicago Patric Wilson

University of New South Wales, Medicine, School of Psychiatry Karen Mather

岩手医科大学災害復興事業本部・いわて東北メディカル・メガバンク機構生体情報解析部門  
清水 厚志

報徳会宇都宮病院 広瀬 信義

DeepMind Technologies Limited Ziga Avsec

グーグル合同会社 Joe Ledsam

大阪大学大学院医学系研究科遺伝統計学 岡田 随象

順天堂大学難病の診断と治療研究センター 岡崎 康司

理化学研究所生命科学研究センター ゲノム情報解析チーム Hon Chung Chau

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究参加者にご了承いただけない  
場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究参  
加者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北大学・東北メディカル・メガバンク機構の連絡先

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

電話番号：022-274-6040

URL：<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/>

#### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

##### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。

(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

##### ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合